

満1歳で～す！



上路秀謙さん(大利)の次女 遥ちゃん

「ひがしどおりのさんぽみち」

「ひがしどおりのさんぽみち」では、村で見つけた、風景や花などを紹介していきます。

また、村民の生涯学習、芸術活動の発表の場として広く提供します。東通村を描いた絵画や東通村で撮った写真、東通村にまつわるものならジャンルを問いません。皆さんの作品もどしどしご応募ください。

<お問合せ> 東通村役場総務課 広報係  
☎27-2111

戸籍のまど (1月届出分)

★お誕生おめでとう

相内 凜太(元太)老部  
石田 徠輝(航貴)猿ヶ森  
梶谷 美妃(勇太)尻屋

★ご結婚おめでとう

畑中 伸(白糠)  
水上 麻衣(六ヶ所村)

※個人のプライバシーを尊重する意味で載せては  
しくない方は届出の際に係に申し出てくださる  
ことをお願い致します。

★お悔やみ申し上げます

川村 謙治(小田野沢)	伊勢田 芳美(白糠)	鈴木 憲夫(小田野沢)	伊勢田 勇(白糠)	白濱 作(岩屋)	岩崎 忠義(巖部)	亀山 義(巖部)	阿部 江(尻)	伊勢田 榮子(白糠)	杉本 喜久治(石持)
92歳	92歳	67歳	88歳	86歳	84歳	81歳	101歳	77歳	95歳

東通村 ジオパーク 探訪

前号は『海と生きる「まさかり」の大地』と特産品についてでしたが、今号は、植物についてです。

日本列島のように大陸から離れた島では、動植物はその島独特の進化を遂げます(オーストラリアのコアラなどが有名)が、今号では、そういった固有種ではなく、東通村が現在の形になった後にやってきた寒い時期(=氷期)と、現在の東通村の動植物との関係性を考えてみます。

一番最近の氷期(約2万年前がピーク)では、地球全体が寒くなり、地球の中の水分が世界中で氷河や氷山になりました。その結果、海水が減り、今よりも海面が120m程度低かったと考えられています。現在の波打ち際が海拔120m程度の標高になっていたイメージです。今、地球温暖化で北極などの氷が溶けて海面が上昇することが問題になっていますが、その逆の現象が起こっていました。

現在、尻屋崎や桑畑山周辺では、本来はもっと高山や寒冷地、湿地にあるような植物を見ることができます。これは、かつての氷期に繁茂した高山性、湿地性、寒冷地性の植物の遺伝子が海に囲まれた尻屋崎周辺に残り、夏季には日照が少なく冷涼という特有の気候が植物種(遺伝子)の保存に好影響を与えたと考えられています。特に、シコタンキンポウゲ(右写真)は、本州では尻屋崎にしか咲かないと考えられていて、生息南限として青森県のレッドデータブックでも絶滅の危機に瀕している植物に指定されています。



次回は、東通村にあるもう一つの南限。ケイマフリという海鳥とその繁殖南限についてです。